



日本語の指導や文化交流に多忙な日々を送っています



狭山市からアフリカのカメルーンへ 現地で日本語を指導しながら 両国の文化交流の懸け橋になりたい

今、午前2時、水確保作戦の開始。昼間はほとんど水道は断水。そこで、深夜に水を貯水します。間もなく連日30度を超す。乾期も終了、雨期が待ち遠しい。ここカメルーンの気候は、11月から4月の乾期と5月から10月の雨期に分かれます。



有瀬さんが活動するドゥアラ市内のようす



現地の皆さんとともに

350万人の商業都市ドゥアラにJHC日本語学校を開設して3年目を迎えました。JHC日本語学校は、2006年に設立されたAFA (Africa Friendship Association) の

狭山の皆さん、こんにちは。アフリカのカメルーンで日本語学校を運営している有瀬直次、62歳です。カメルーンには、2008年に来ました。警視庁に約30年間奉職し、その後、民間企業で働きました。この間、さやま生涯学習をすすめる市民の会に在籍し、市の指導のもと、多種多様な皆さんと楽しく活動しました。現在、会員の皆さんはさらに飛躍し、活動領域を広げているとのこと。OBとしてはとてもうれしいです。同会の今後の発展を祈ります。

傘下にあります。目的：日本語指導・日本文化紹介・日本留学案内、両国企業との交流促進
目標：日本語指導 日本語能力検定 レベル4 初級日常会話 養成
期間：普通クラス(5か月)と特別クラス(時宜開設) 授業：月々金、1日90分 5か月の授業料18万CF Aフラン(36万円) 7人家族の生活費1か月30万CF Aフラン
現在の学生数は、特別クラス(9か月コース9名)と普通クラス(5か月コース5名)の2クラス14名です。開校以来、約50人が在籍し、内9名が訪日し、勉強を開始しています。JHCでは学生確保のため、テレビ・ラジオ出演、新聞・雑誌への広報や、大学・高校で説明会を行って募集活動を展開中です。学校運営の継続・発展に向け努力し、文化交流の懸け橋となるよう頑張ります。

さて、このたび「広報さやま」へ掲載の機会をいただきましたので、JHC (Japan House Cameroon) 日本語学校をご紹介します。

Address...P.O.Box 9736 Douala Cameroon
Web...http://www.japanhousecameroon.com (仏語版)
E-mail...info@japanhousecameroon.com
japanhousecameroon@yahoo.fr
afaconnection@hotmail.com
naotsugarise@yahoo.com
日本窓口
生涯学習をすすめる市民の会会長 藤原俊昭
2956 2154
E-mail...toshiaki f@air.ocn.ne.jp

狭山市の発展と市民皆さまのご多幸を祈念申し上げます。



JHC (ジャパンハウス カメルーン) 代表

ありせなかつく
有瀬直次さん

今回は、海外で活躍する人間川出身の方からお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします(4月17日執筆)

オピニオン

健康でいられることの大切さ



山崎くよさん
(柏原在住)

私は、現在94歳です。いつまでも元気で、自分のことは自分でするを motto に日々過ごしています。食事は魚・野菜中心で、しっかりと睡眠をとり、細かいことにはこだわらない、健康にこだわる生活をしています。

今思うと、健康のひけつの一つに、幼少期のころからニボシの味噌汁を飲んでいただけだと思えます。子育て中のお母さん方には、幼少期の食事は大切なので好き嫌いをさせず、栄養のバランスがとれた食生活をさせていただきたいと思っています。また、お母さん方もあまり細かいことにこだわらない生活をしていただければ健康によいと思えます。健康でいられることで幸せが舞い込んで来ます。

市の考え方

健康で明るく元気に生活されている姿は、素晴らしいことです。健康維持には、子どものころから適度な運動と主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食事を規則正しく取るなど、望ましい生活習慣を身につけることが大切です。今後も、市民の皆さんが健康に関心を持ち、積極的な人生を歩んでいただけるように努めていきます。

担当 健康推進課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp



前列左から那須顧問、小島副会長、石原会長、塩野谷副会長、吉久幹事長、後列左より末村地区連合会長、高橋地区連合会長、田口地区連合会長、園部地区連合会長

くからせ 自治体

狭山市自治会連合会

平成22年度の役員が決まりました。連合会は、「輪」になって地域とともに住み良い狭山をスローガンに、単位自治会、地区自治会連合会及び狭山市と連携を密にし、自治会相互の交流を深め、地域づくりを推進します。一年間、よろしくお願ひします。(敬称略)

- 〇市連合役員/会長石原正夫 副会長小島晃 副会長塩野谷延夫 幹事長吉久隆男 顧問那須美徳
- 〇各地区連合会長/人間川小島晃 入曾石原正夫 堀兼園部良夫 奥富塩野谷延夫 柏原田口勇男 水富吉久隆男 新狭山高橋和昌

姉妹・友好都市 見てある記

オレンジジョンソンハウス
アメリカ合衆国ワージントン市



ワージントン市(1999年姉妹都市締結)は、1803年にジェームズ・キルボーンらによって開拓されました。その当時の建築物として、1811年に建てられたオレンジジョンソンハウスが残されています。



現在は、ワージントン歴史協会が管理し、博物館として一般に公開されています。開拓当時の家具や調度品、農具などが大切に保管されていて、中でもキッチンに据えつけられた調理用の暖炉は、当時の生活を知る上で貴重な資料となっています。19世紀のアメリカの家庭を感じることができる場所です。

狭山の史跡

公式モバイルサイトで市内の史跡を巡るコースを多数紹介しています。ぜひご覧ください。

信立寺

所在地 広瀬3丁目5番1号



の開祖は、当国領主、加治左馬助丹治家信の発願で、草創について、古記録には、天正7年(1579)としてありますが、日懺聖人の伝記には、天正18年(1590)ごろとなつています。また、当寺の号は、開祖である家信、開山日懺聖人の名にちなんで、懺山信立寺」としたと伝えられています。

日蓮宗池上本門寺の末寺で、寺として整う以前すでに小庵があったと伝えられています。 信立寺として